

## 議案第 7 3 号

### 和解について

次のとおり和解するため、地方自治法（昭和 2 2 年法律第 6 7 号）第 9 6 条第 1 項第 1 2 号の規定に基づき、議会の議決を求める。

令和 7 年 1 1 月 2 7 日提出

東郷町長 石 橋 直 季

### 1 相手方

- (1) 前土地所有者 A
- (2) 現土地所有者 B

### 2 事案の内容

昭和 5 5 年度から土地の賃貸借契約を行っていた諸輪小学校のプール敷地の一部（以下「本件土地」という。）について、令和 7 年度に本件土地を購入するため測量を実施したところ、借地している土地の位置に錯誤が判明したことから、相手方と協議の上、和解をするもの。

### 3 和解の内容

- (1) 東郷町と相手方は、本件土地を賃貸借物件とする土地賃貸借契約（以下「本件契約」という。）が終了したことを確認すること。
- (2) 相手方は、東郷町に対し、諸輪小学校のプール敷地は本件土地ではなく、東郷町の所有地であることを確認するとともに、当該敷地について全ての権利を放棄し、何らの請求もしないことを約すること。
- (3) 東郷町は、相手方に対し、本件契約に基づく賃借料（借地料）の返還請求権を全て放棄し、本件契約に関して何らの金銭請求もしないことを約すること。
- (4) 東郷町と相手方は、上記和解内容のほか、本件契約に関し、何らの債権債務のないことを相互に確認すること。

### 説 明

この案を提出するのは、和解をするため必要があるからである。

## 議案の概要

### 1 提案理由

昭和55年度から土地の賃貸借契約を行っていた諸輪小学校のプール敷地の一部について、地方自治法（昭和22年法律第67号）第96条第1項第12号の規定に基づき、和解をするため必要があるからである。

### 2 和解の内容

- (1) 東郷町と相手方は、本件契約が終了したことを確認すること。
- (2) 相手方は、東郷町に対し、諸輪小学校のプール敷地は本件土地ではなく、東郷町の所有地であることを確認するとともに、当該敷地について全ての権利を放棄し、何らの請求もしないことを約すること。
- (3) 東郷町は、相手方に対し、本件契約に基づく賃借料（借地料）の返還請求権を全て放棄し、本件契約に関して何らの金銭請求もしないことを約すること。
- (4) 東郷町と相手方は、上記和解内容のほか、本件契約に関し、何らの債権債務のないことを相互に確認すること。